



8月25日

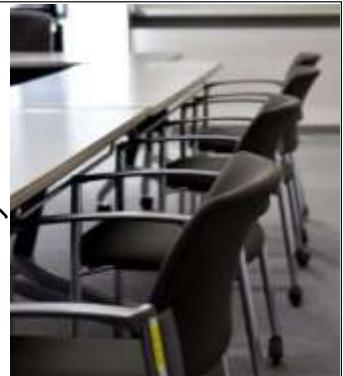
「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編

東地申3号

について」に関する申し入れ（その1）

東京地本は2022年6月6日、会社より横須賀・総武快速線の乗務員基地再編の概要として、下記の提案を受けました。

- 安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制の実現を目的とする。
- 現在、東京車掌区・東京電車区が担当する横須賀・総武快速線等の業務については、東京駅総武地下2階の現丸の内車掌区エリアを間内改修し、総武運輸区（仮称）へ移管し、東京電車区を廃止する。
- 東京車掌区については、総武運輸区（仮称）発足後も東海道線等の業務を担当する区所として存置する。
- 実施時期は2024年3月とし、具体的な実施日等は決定次第連絡する。
- 2022年11月12日に、丸の内車掌区は間内改修工事によるサピアタワー移転に伴い『折り返し時間』を変更し、運用改正を実施する。



しかし、

丸の内車掌区では
多くの不安の声が
上がっています！

- ✓ サピアタワーの職場レイアウトが明らかにされない。
- ✓ 11月12日の運用改正に伴う行路はどのように変化するのか。
- ✓ 折り返し時間の変更で徒歩時分が増え、拘束時間が長時間になるため、睡眠を目的とした乗務の中断時間が減るのでは。
- ✓ 社員説明では具体的な内容は「検討中」とされ、今後の職場の変化が想像できない。 など

私たちの主張

- グループ経営ビジョン「変革2027」では「仕事を通じた達成感・充足感」および「労働条件の向上」等を通じ、当社グループの社員・家族の幸福を実現することが目指されているが、今回の提案では具体的な内容が示されていない。
- 「乗務員の業務等の見直し」「『変革2027』の実現に向けた組織の再編について」をはじめとする各種施策は業務改革・生産性の向上が目的とされ、安全を司る人間への投資や活躍できるフィールドを創ることを怠れば鉄道の安全は確立できない。
- 乗務員職場では、乗務中はお客さまの「命」を運ぶことから緊張の連続であり、次の乗務に備えるためにも職場環境の整備は重要である。

労使議論をしっかりと行い、組合員・社員の不満・不安の解消を図った上で、総武運輸区（仮称）を安全で安心して働ける労働環境につくり上げていくことで、さらなる安全とサービスレベルの向上につなげ、お客さまからの信頼と安心をつくり出していかなければなりません。そのため、下記の内容で申し入れました。



8月25日 「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編

東地申3号

について」に関する申し入れ（その1）

【申し入れ内容】

1. 東京車掌区・東京電車区が担当している横須賀・総武快速線等の業務を総武運輸区（仮称）に移管し、東京電車区を廃止する本施策の目的を明らかにすること。
2. 業務移管後の総武運輸区（仮称）および、東海道線等の業務を担当する区所として存置する東京車掌区の安全・サービスのさらなるレベルアップをどのように図るのか明らかにすること。また本施策における「効率的な業務執行体制の実現」とはどのようなことを意味するのか具体的に明らかにすること。
3. 田町運転区が担当している横須賀線行路について、行路移管の考え方を明らかにすること。
4. 横須賀・総武快速線の異常時における輸送の安定性の確保について、考え方を明らかにすること。
5. 丸の内車掌区のサピアタワー移転に伴う運用改正について、以下の点を明らかにすること。
 - (1) 2022年11月12日の運用改正における行路を明らかにすること。また、それぞれの担務の標準数を示すこと。
 - (2) 「折り返し時間」の変更に伴う徒歩時分の考え方を明らかにすること。また、丸の内車掌区乗務員の武蔵野線・京葉線担当の際の、それぞれの指定通路、徒歩時分を明らかにすること。さらに、東京駅構内のシャッターが「閉」の場合の指定通路、徒歩時分を明らかにすること。
6. 丸の内車掌区のサピアタワーへの移転スケジュールを明らかにすること。また、社員個人の荷物の搬出方法を明らかにすると共に、社員自身が搬出する場合は超勤対応とすること。
7. サピアタワー移転後の丸の内車掌区について以下の点を明らかにすること。
 - (1) 職場の間内レイアウトおよび設備について明らかにすること。また、そのレイアウト・設備の使用方法等は現場社員の意見を反映して進めること。
 - (2) サピアタワー内の寝室数を明らかにすると共に、東京電車区と丸の内車掌区の寝室の内訳を明らかにすること。また、下記の社員の寝室の場所および、点呼執行箇所ならびにその方法を明らかにすること。
 - ①武蔵野線ならびに京葉線を担当する東京泊の丸の内車掌区乗務員。
 - ②丸の内車掌区の指導担当・当務主務等、業務の必要に応じて宿泊する社員。
 - ③現行、丸の内車掌区の寝室を使用している東京泊の他区乗務員。
 - (3) 現行の丸の内車掌区（東京駅総武地下2階）の設備の活用方法を明らかにすること。
 - (4) サピアタワー移転にあたっては、防災訓練を実施し、意識向上を図ること。また、大地震等の災害発生時に備え、非常用品の備蓄を行うと共に、避難ルート・避難場所等の見える化を図り、定例的に訓練を実施すること。
8. 丸の内車掌区のサピアタワー移転に伴い、現在の東京電車区の執務エリアならびに設備について変更になるもの、新設する設備があるのか明らかにすること。また、東京電車区と共用する設備等について明らかにすること。
9. 丸の内車掌区ならびに、横須賀・総武快速線を担当する全乗務員職場に対し、本施策実施に向けた社員説明会を行うこと。

安全で安心して働ける職場を私たちの手でつくり出そう！